

薬用植物園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2019年
2月12日
第60号

アカマツ（マツ科）

園に背の高い立派な松の木がありますね！
おそらく、山崎川の桜並木が出来る前に植えられた木が残っているものと思われます。昭和9年の名女大汐路敷地より山崎川方面をのぞむ写真には川べりに松並木が見られます。常緑針葉樹で常盤木（ときわぎ）の代表とされ、昔から門松などお祝い事に使われてきました。成長期の夏場、溝形にキズをつけ、滲出物の生松脂（テレピンチナ）を採取し、これを水蒸気蒸留すると、揮発性成分からテレピン油が、残留分から松脂（ロジン）が得られます。テレピンチナには皮膚刺激作用があり、吸出し膏として用います。テレピン油は軟膏の基剤として用いるほか、油絵具の溶剤としても用います。ロジンは絆創膏や硬膏の基剤として用いるほか、ロジンバックとして滑り止めに用いたり、弦楽器の弓の摩擦力を高めるため用います。民間薬としては、マツの葉を酒に浸して松葉酒としたり、茶剤として服用します。



キンカン（ミカン科）

園内、育苗室前に実が見られます。中国の長江中流原産の常緑低木です。「キンカン」は属名で、種としては、ナガミキンカン、マルミキンカン、ネイハキンカン等があります。このうち、食用キンカンの多くは江戸時代に中国から静岡県に伝わったネイハキンカン（別名ニンポウキンカン）と言われていています。皮ごと食べられ、他のミカン類よりビタミンCと総ポリフェノールが多いと言われていています。

薬用としては、果実を生薬：金橘（キンキツ）の名で、民間薬として二日酔いや消化不良、咳止め、喉の痛み等に、また焼酎に漬けてキンカン酒として飲用します。

今、こんな草木が楽しめます！！